EUROPEAN PATENT OFFICE

Patent Abstracts of Japan

PUBLICATION NUMBER

61055034

PUBLICATION DATE

19-03-86

APPLICATION DATE

22-08-84

APPLICATION NUMBER

59173250

APPLICANT: HITACHI LTD;

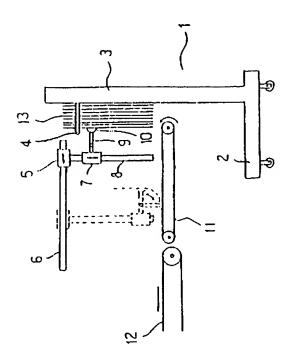
INVENTOR: FURUKAWA KIYONORI;

INT.CL.

B65H 3/08

TITLE

THIN PLATE FEEDING DEVICE



ABSTRACT: PURPOSE: To change direction smoothly by making the moving speed of a vertically moving device for a rod having adsorbing device and the turning speed of said rod equal to the conveying speed of a conveyor belt, in a feeding device for a board-like object with a smaller board thickness such as a printed-wiring board.

> CONSTITUTION: A thin plate 13 is adsorbed by an adsorbing device 10 and a horizontally moving device 5 is moved to separate one sheet of the thin plate 13 from a guide bar 4. Then, a vertically moving device 7 is lowered. The lowering speed at this time is equal to the moving speed of a conveyor 11. And, thereby, the lower end of the thin plate 13 starts to be conveyed at the same time it is brought in contact with the conveyor 11. The vertically moving device 7 is stopped when it is lowered to position while, at the same time, its rod 9 is turned around its shaft at the samd speed as the speed of the belt conveyor 11, is vertically positioned with respect to the conveyor 11, and its adsorption is released. Thereby, the change in direction and the conveyance of the thin plate 13 can be smoothly carried out.

COPYRIGHT: (C)1986, JPO& Japio

① 特許出願公開

⑫ 公 開 特 許 公 報 (A)

昭61-55034

௵Int Cl.⁴

證別記号

庁内整理番号

④公開 昭和61年(1986)3月19日

B 65 H 3/08

7456-3F

審査請求 未請求 発明の数 1 (全3頁)

匈発明の名称 薄板の供給装置

②特 願 昭59-173250

清 則

②出 願 昭59(1984)8月22日

⑩発明者 古川

秦野市堀山下1番地 株式会社日立製作所神奈川工場内

⑪出 願 人 株式会社日立製作所

東京都千代田区神田駿河台4丁目6番地

20代理人 弁理士 高橋 明夫 外1名

er na no

1. 発明の名称

薄板の供給装皿

2. 特許請求の範囲

3. 范明の詳細な説明

(発明の利用分野)

本充明は、板状物体の船送供給装置に係り、特

に 北子部品としてのプリント 拡板など 仮序の小さい 板状物体の 臨送供給に 好適な 蒋板の供給 製配に関する。

(発明の背景)

電子部品用のプリント基板又は銅弧り積別板等の密板を、種々の加工のために取り出して供給する装置は、いろいろなものが突出され、実用化されている。

第3回に示すものも、その1つである。簡単に 説明すると、薄板10を台20上に何枚か組み重 ねておき、真空吸引装置30により台20上の等 板を1枚ずつ吸引し、これをコンベア10に鍵 供給する。この装置によると、薄板を積み重ねた 状態にしておくため、薄板に付着したゴミが伸し はけられ、特にゴミの付着をきらう半導体でが 品においては、好ましくない。また、薄板を揃う 品に落をするとき、その表面が接触し合って傷つ き島いなどの発点を有していた。

(発明の目的)

本苑明の目的は、以上のような状況に謂み、彼

取送物である部板を延直に保持して運搬すること により、ゴミの付着やすり合せによる損傷を与え ない添板の供給数額を提供することにある。

〔発明の概要〕

٠:

(発明の実施例)

第1回及び第2回は本発明の一実施例を示した もので、第1回は斜視回、第2回は側面回である。 1は巡搬台車で、基台2及び設基台に重直に立設 された壁体3及び設壁体に直角に植設された複数

なお、水平移動装置や鑑直移動装置の駆動機構は篩迷していないが、これは、例えば各移動装置の関面に直流モーターを取りつけ、ギヤのかみ合せによって各移動装置をガイド軸に沿って移動させてもよく、また様杆の曲折は、例えばペンシリンダ駆動によるなど、いずれも任意に行うことができる。

さらに、上記と逆の動作により、水平順送され た存版を抵阻に保持する受け取り数配も実現でき のガイド係1から協成される。5はガイない。協行に移動する水平移動数組で、固示されないよりに設けされるがイド軸6によりに支持され、かつ駆動されなが移動する。7 イド機の大平移動な石に水平移動するが、1 は保持のでは、1 は保持のでは、1 は保持のでは、1 は保持のでは、1 はないのでは、1 はないのが、1 はないのが、1

かかる装配の作用を第2図を中心に述べると、 薄板13の搬送供給には、ある程度上下移動装設 7を上方に位置させた状態で吸着装配10で深板 13の表面を吸着し、続いて水平移動装置5を源 板の懸架位置から遠ざかる方向へ移動させ、深板 を1枚だけガイド移から分離する。次に、垂直移

ప.

(発明の効果)

本充明によれば、級板状の被腹送物を重直に保持しておき、臨送時には1枚づつ水平にするので、ゴミの付着や額み重ねによる原際組傷がないばかりか、重直な保持状態から水平な移動状態への移行が、全て水平移動ベルトコンベアの速度に同間して行われるため、海板に無理な力を加えることなく、スムーズでそれだけ海板に異常応力を残すおそれもない。

4. 図面の紅単な説明

第1 図及び第2 図は本苑明の実施例を示す図。 第3 図は従来装配をそれぞれ示す。

1 … 週股台車、 2 … 基台、 3 … 壁体。

1 ... ガイド位。 5 ... 水平移動装置。

G … ガイド軸. 7 … 垂直移動装置.

8 … ガイド軸. 9 … 根杆. 10 … 真空吸着 装匠. 11及び12 … ベルトコンベア.

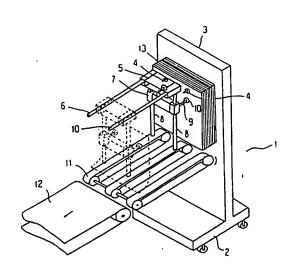
13…被做选琼板。

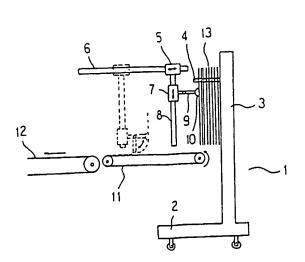
代理人弁理士 髙 橋 明 夫











第 3 図

